

◆ 特
定共同
研究
(A)

(研究期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(地震予知、火山噴火予知計画等のプロジェクトへの、全国の研究者の参加支援)

No.	代表者名	所属機関	担当教員	プロジェクト名	
2009-A-01	歌田久司	東京大学地震研究所	歌田久司	海底ケーブルネットワークによる地球物理学的研究	
2009-A-02	深尾良夫	東京大学地震研究所	歌田久司	地球深部の構造とダイナミクス	
2009-A-03	中谷正生	東京大学地震研究所	中谷正生	地震発生先行過程	
2009-A-04	矢部康男	東北大学大学院理学研究科	平賀岳彦	地震発生・火山噴火の素過程	
2009-A-05	山下輝夫	東京大学地震研究所	加藤尚之 堀 宗朗	地殻活動予測シミュレーション	
2009-A-06	飯尾能久	京都大学防災研究所	加藤尚之 岩崎貴哉 加藤照之	日本列島域の応力場・ひずみ場に関する研究	
2009-A-07	佐竹健治	東京大学地震研究所	佐竹健治	地震・火山現象に関するデータベースの構築	
2009-A-08	大久保修平	東京大学地震研究所	大久保修平	サブダクション・ゾーン陸側の重力変化の追跡	
2009-A-09	大久保修平	東京大学地震研究所	大久保修平	重力変動に基づく火山活動推移予測	
2009-A-10	田中宏幸	東京大学地震研究所	田中宏幸	宇宙線観測による構造探査技術の高度化	
2009-A-11	加藤照之	東京大学地震研究所	加藤照之	GPSによる総合的観測研究	
2009-A-12	藤本博己	東北大学大学院理学研究科	新谷昌人	新たな観測技術の開発	
2009-A-13	中田節也	東京大学地震研究所	中田節也	火山噴火予測システム	
2009-A-14	寅丸敦志	九州大学大学院理学研究院	市原美恵 中田節也	火山噴火素過程としてのマグマの分化・発泡・脱ガス過程の研究	
2009-A-15	大湊隆雄	東京大学地震研究所	大湊隆雄	火山噴火準備過程の研究	
2009-A-16	武尾 実	東京大学地震研究所	武尾 実	火山噴火過程の研究	
2009-A-17	上嶋 誠	東京大学地震研究所	上嶋 誠	マルチスケール比抵抗構造探査	
2009-A-18	茂木 透	北海道大学大学院理学研究科	上嶋 誠	地殻活動に関連する電磁気観測	
2009-A-19	清水 洋	九州大学大学院理学研究院	森田裕一	地震活動と火山活動の相互作用に関する研究	
2009-A-20	飯高 隆	東京大学地震研究所	飯高 隆	上部マントルとマグマの発生場	
2009-A-21	飯高 隆	東京大学地震研究所	飯高 隆	プレート境界の固着域とその深部延長上遷移領域の構造と物理特性の解明	
2009-A-22	岩崎貴哉 飯高 隆	東京大学地震研究所	岩崎貴哉 飯高 隆	濃尾断層系における歪・応力集中過程と破壊様式解明のための総合的研究	
2009-A-23	加藤愛太郎	東京大学地震研究所	加藤愛太郎	非火山性群発地震の発生メカニズムの解明-震源域深部の地殻内流体との相互作用	

2009-A-24	岩田貴樹	早稲田大学国際教養学部	鶴岡 弘	地震活動評価に基づく地震発生予測	
2009-A-25	堀 貞喜	防災科学技術研究所	卜部 卓澄 鷹野 澄	地殻活動モニタリング手法の高度化	
2009-A-26	大久保修平	東京大学地震研究所	青木陽介 田中愛幸	干渉合成開口レーダー解析の高度化	
2009-A-27	金沢敏彦	東京大学地震研究所	金沢敏彦 篠原雅尚	海域部における総合的調査・観測によるアスペリティの実体解明	
2009-A-28	金沢敏彦	東京大学地震研究所	金沢敏彦 篠原雅尚	東南海・南海地域および日本海溝・千島海溝周辺の地殻活動モニタリングの高度化	
2009-A-29	金沢敏彦	東京大学地震研究所	金沢敏彦 篠原雅尚	海域データによるスラブ内地震とプレート境界地震の相互作用の研究	
2009-A-30	佐藤比呂志	東京大学地震研究所	佐藤比呂志	大規模活断層システムにおける長期地殻歪み蓄積過程の解明	
2009-A-31	瀬藤一起	東京大学地震研究所	三宅弘恵 佐竹健治	地震破壊過程と強震動	

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。



◆ 特定共同研究(B) (研究期間：平成21年4月1日－平成22年3月31日)
 (全国的な規模のグループが実施する、地震予知・噴火予知計画等の事業費に基づかないプロジェクトで将来事業化を目指す計画)

No.	新規 継続 最終 の年度 別	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	
2007-B-01	最終	金尾政紀	極地研究所	川勝 均	フロンティア観測地球科学の推進	
2007-B-02	最終	小原一成	防災科学技術研究所	平田 直	関東地方の地震テクトニクス	
2008-B-02	継続	中島崇裕	静岡大学理学部	上嶋 誠	能動的手法を用いた電磁気探査ならびに監視システムの確立	
2009-B-01	新規	中西一郎	京都大学理学研究科	綿田辰吾	グローバル地震学	
2009-B-02	新規	小澤 拓	防災科学技術研究所	青木陽介	SARを用いた地震火山活動に伴う地殻変動の検出	
2009-B-03	新規	翠川三郎	東京工業大学総合理工学研究科	瀧澤一起 鷹野 澄	首都圏強震動総合ネットワークを利用した震源・地下構造・地震動生成メカニズムに関する研究	

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆ 特定共同研究(C) (研究期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(地震研究所が特別に認めた、共同利用経費以外の資金によって運営される共同研究プロジェクト)

No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	
2008-C-01	吉田真吾	東京大学地震研究所	吉田真吾	防災研究フォーラムによる地震火山研究の推進	
2008-C-02	小原一成	防災科学技術研究所	平田直	首都直下地震防災・減災特別プロジェクト：①首都圏周辺でのプレート構造調査，震源断層モデルの構築等 (1) 地震計を用いた自然地震観測によるプレート構造調査	
2008-C-03	伊藤谷生	千葉大学理学研究科	佐藤比呂志	首都直下地震防災・減災特別プロジェクト：①首都圏周辺でのプレート構造調査，震源断層モデルの構築等 (2) 制御震源を用いた地殻構造調査	
2008-C-04	山中佳子	名古屋大学環境学研究科	佐竹健治	首都直下地震防災・減災特別プロジェクト：①首都圏周辺でのプレート構造調査，震源断層モデルの構築等 (3) 歴史地震等の記録の収集，整理及び再評価	
2008-C-05	竹中博士	九州大学大学院理学研究院	額継一起 古村孝志 三宅弘恵	首都直下地震防災・減災特別プロジェクト：①首都圏周辺でのプレート構造調査，震源断層モデルの構築等 (4) 震源断層モデル等の構築	



◆ 一般共同研究 (研究期間：平成21年4月1日ー平成22年3月31日)					
(所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究)					
No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	
1	小野重明	海洋研究開発機構	三部賢治	H ₂ O-CO ₂ フルイドとケイ酸塩マグマとの間の第二臨界点の温度圧力決定	内
2	相澤広記	京都大学防災研究所	上嶋 誠	広帯域MT連続観測による桜島比抵抗変動源の推定	内
3	新正裕尚	東京経済大学経営学部	折橋裕二	花こう岩の造岩鉱物の微量元素組成分析	内
4	山中佳子	名古屋大学大学院環境学研究科	竹内 希	DSMを用いた巨大地震の震源解析手法の開発	内
5	藤 浩明	京都大学大学院理学研究科	歌田久司	地磁気鉛直勾配法で見るスタグナント・スラブからの脱水過程	内
6	植平賢司	九州大学大学院理学研究院	ト部 卓 鶴岡 弘 中川茂樹	WINシステムの64ビット環境への対応	内
7	植平賢司	九州大学大学院理学研究院	ト部 卓	地震観測用衛星通信テレメータシステムの改良	内
8	篠原宏志	産業技術総合研究所	大湊隆雄	浅間火山における脱ガス推移の把握とモデル化	内
9	浦辺徹郎	東京大学大学院理学系研究科	中井俊一	海底熱水鉱床中のIn-Snシステムティックス	内
10	渡邊裕美子	京都大学大学院理学研究科	中井俊一	ウラン放射壊変系列を用いた炭酸塩の年代学的研究～断層内部流体の時空変遷解明にむけて	内
11	須田直樹	広島大学大学院理学研究科	鶴岡 弘	1997年スロースリップ以降の豊後水道における微動活動の解明	内
12	川本竜彦	京都大学大学院理学研究科	藤井敏嗣	蛇紋石の破壊実験：スラブ内地震から温度構造を推定する	内
13	安間 了	筑波大学生命環境科学研究科	折橋裕二	海嶺沈み込みに伴う局地的地殻変動の研究	内
14	飯塚 敦	神戸大学都市安全研究センター	堀 宗朗	災害緊急時の医療配置意志決定に関する戦略的シナリオ策定	内
15	大久保慎人	(財)地震予知総合研究振興会	新谷昌人	神岡レーザー伸縮計で得られるひずみ地震動記録を用いた地球の深部構造	内
16	平田大二	神奈川県生命の星・地球博物館	折橋裕二	南関東付加体中の凝灰岩ジルコン年代学と火山活動の時空変遷	内
17	亀 伸樹	九州大学大学院理学研究院	中谷正生	スケーリングする断層摩擦のモデリング	内
18	金子克哉	京都大学大学院人間・環境学研究科	安田 敦	大規模珪長質マグマ活動における地殻内水量進化過程の解析	内
19	里村幹夫	静岡大学理学部	加藤照之	稠密GPSに基づく微小地殻変動の検出とその信頼性の検討	内

20	津久井雅志	千葉大学大学院 理学研究科	中田節也	より高度な火山噴火予知のための噴火シナリオ試作	
21	久田健一郎	筑波大学大学院 生命環境科学研究科	折橋裕二	四万十帯中オルソコーツアイト礫のLA-ICPMSジルコン年代測定	
22	齋藤 努	室蘭工業大学機 械システム工学 科	小屋口剛博	固気2相流計算プログラムの開発と検証（噴煙の数値模擬をめざして）	
23	大島俊之	北見工業大学工 学部	堀 宗朗	GISを利用した北海道東部地域の複合地震災害予測	
24	大橋正健	東京大学宇宙線 研究所	新谷昌人	重力波検出器に対する地殻歪の影響の研究	
25	高橋弘毅	長岡科学技術大 学工学部	新谷昌人	Hilbert-Huang変換を用いた神岡レーザ伸縮計データ解析法の研究	
26	岩森 光	東京大学大学院 理学系研究科	折橋裕二 中井俊一	変成岩に現れる褶曲構造の成因と応力解析	
27	小川康雄	東京工業大学火 山流体研究セン ター	上嶋 誠	Coincident-loop電磁誘導法による活動火口直下の背光モニタリング	
28	金嶋 聰	九州大学大学院 理学研究院	川勝 均	地球のマントル遷移層と内核表層の構造 Earth's mantle transition zone and the surface structure of the inner core	

◆ 研究集会 (研究期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(全国の研究者が地震・火山関連分野のテーマについて集中的に討議する研究会。開催場所は原則として地震研究所)

No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催 予定日	
1	吉本和生	横浜市立大学 大学院国際総合科学研究科	山下輝夫	リソスフェアの短波長不均質性の時空間変化に関する研究の高度化－物理モデルの構築と稠密地震観測記録の解析をとおして－	H21年9月の2日間	
2	鈴木雄治郎	海洋研究開発機構	小屋口剛博	火山現象の数値計算研究	H21年10～11月	
3	西谷忠師	秋田大学工学 資源学部	上嶋 誠	地球電磁気観測による地震・火山活動域のイメージングを目指して	H21年12月2～3日	
4	名和一成	産業技術総合研究所	大久保修平	重力観測・理論、その応用－陸上・海底から衛星観測まで－	H21年12月3～4日	
5	阿部なつ江	海洋研究開発機構	馬場聖至	プチスポット研究集会：海洋プレートおよび上部マンツルの構造・進化解明に向けて Petit-spot symposium: Implications for the structure and evolution of oceanic plate and underlying mantle	H21年11月下旬の2日間	
6	栗田 敬	東京大学地震研究所	栗田 敬	固体天体探査と固体地球物理学	H21年7月	

